川村の間より蛇ヶ淵とて深き所あり近年は淵まで河底迄
埋れ人馬狗猫等迄埋れ沈むること甚安倍殿
頼豊てせんさぐること後へ引て安倍殿河内へ陣の時
頼豊を切られて後頼豊となれり故に斯いふも又
り又河内陣の時馬鞭を落されること有り之をいふ
といふて拵は蛇ヶ淵惜しの米豆と書く尋ねる事
新堀村近傍にて高言言の法信法師
が或時法師夫婦共に血脈を授ける
故血脈を授ること拵く新堀夫婦新堀の淵を流し

川迄ありける時に蛇渦巻きたりて流れかた壇
上に座するもの行方壇時迄て之を見ること
惜しき蛇宮殿の由拵あり其後法師新堀村に移
り今時新堀村淵下に宮殿ありて彼
新堀の住人今頃迄世にて河内より歌舞伎
霊命の刻寺無住なれば全月へ寺領を引きけると
いふて生駒寺を建立今時高安寺といふ舞
とて宮降山霊護寺といふ法師の所名は寺
あるとする其頃安倍殿美濃寺事を隠と